平成19年4月から洪水予報(国土交通省と気象庁が共同発表)と避難判断水位到達情報(国土交通省発表)が変わります!!

～ わかりやすい情報の提供をめざして ～

避難判断水位到達情報(国土交通省発表)の改善

○○川　はん濫警戒情報

平成○○年○○月○○日
○○時○○分発表
○○河川国道事務所

＜主文＞
- 具体的な地区名を明記
- 水位危険度レベルの明記
- 洪水の状況を施設と水位の関係で表現
  （例）　堤防の上面まであと○○m　など

※「避難判断水位」は、水防法第13条で規定される特別警戒水位の呼称です。

- 「特別警戒水位情報」を「はん濫警戒情報」に変更
- 洪水予報と同様に「はん濫注意情報」「はん濫危険情報」「はん濫発生情報」を発表

用語の改善

■ 水位情報で用いる用語

計画高水位 → はん濫危険水位
※河川計画や事業実施においては、堤防設計水位である計画高水位を使用
危険水位 → はん濫危険水位
特別警戒水位 →　避難判断水位
警戒水位 → はん濫注意水位
通報水位(指定水位) → 水防団待機水位

■ 洪水予報等で用いる用語

洪水注意報 → はん濫注意情報
洪水警報 → はん濫警戒情報
洪水情報 → はん濫危険情報
　　→ はん濫発生情報

■ その他の用語

破堤 → 堤防の決壊
決壊 → 決壊［対象地区を明確化］
欠壊 → 一部流出(崩壊)
　　［対象地区を明確化］
越水・溢水 → 水があふれる
　　［対象地区を明確化］
浸水 → 浸水［対象地区を明確化］
冠水 → 浸水［対象地区を明確化］
出水 → 増水
洗掘 → 深掘れ
漏水 → 漏水［対象地区を明確化］
法崩れ → 堤防斜面の崩れ
既往最大流量 → 過去最大流量
水防警報指定河川 → 水防警報河川
水位情報周知河川 → 水位周知河川
樋門・樋管 → (排・取)水門
排水機場 → 排水ポンプ場
(堤防)天端 → (堤防の)上面
右岸・左岸 → 例：○○市側
堤内地・堤内 → 堤防の住居地側
堤外地・堤外 → 堤防の川側
高水敷 → 河川敷
派川 → 派川(分岐して流れる川)
直轄区間 → 国管理区間
指定区間 → 県管理区間
川裏 → 居住側、居住地側
川表 → 川側
法・法面 → 堤防斜面
沿川 → 川沿い
内水 → 内水
　　(河川に排水できずにはん濫した水)
強雨域 → 強い雨が降る範囲
　　(○○時間○○ミリ以上)

（ダム水位関係）
設計洪水位 → 設計最高水位
サーチャージ水位 → 洪水時最高水位
常時満水位 → 平常時最高貯水位
洪水期制限水位 → 洪水貯留準備水位



平成１８年１０月洪水（馬淵川）



水位危険度レベル現地表示例


平成１８年１０月洪水
（鳴瀬川での水防活動）

河川情報は
　国土交通省　川の防災情報(ホームページ)　http://www.river.go.jp/
　国土交通省　川の防災情報(携帯電話版)　http://i.river.go.jp/

気象情報は
　気象庁　防災気象情報　http://www.jma.go.jp/jma/menu/flash.html

国土交通省東北地方整備局・気象庁仙台管区気象台

洪水時の情報に関する課題

- 河川管理のための専門用語が多い。
- 様々な目的で水位が設定され、危険度がわかりにくい。
- 情報が避難等の行動を意識していないため住民等が理解しにくい。
- 河川の規模によって提供する情報の種類が違うため混乱する。

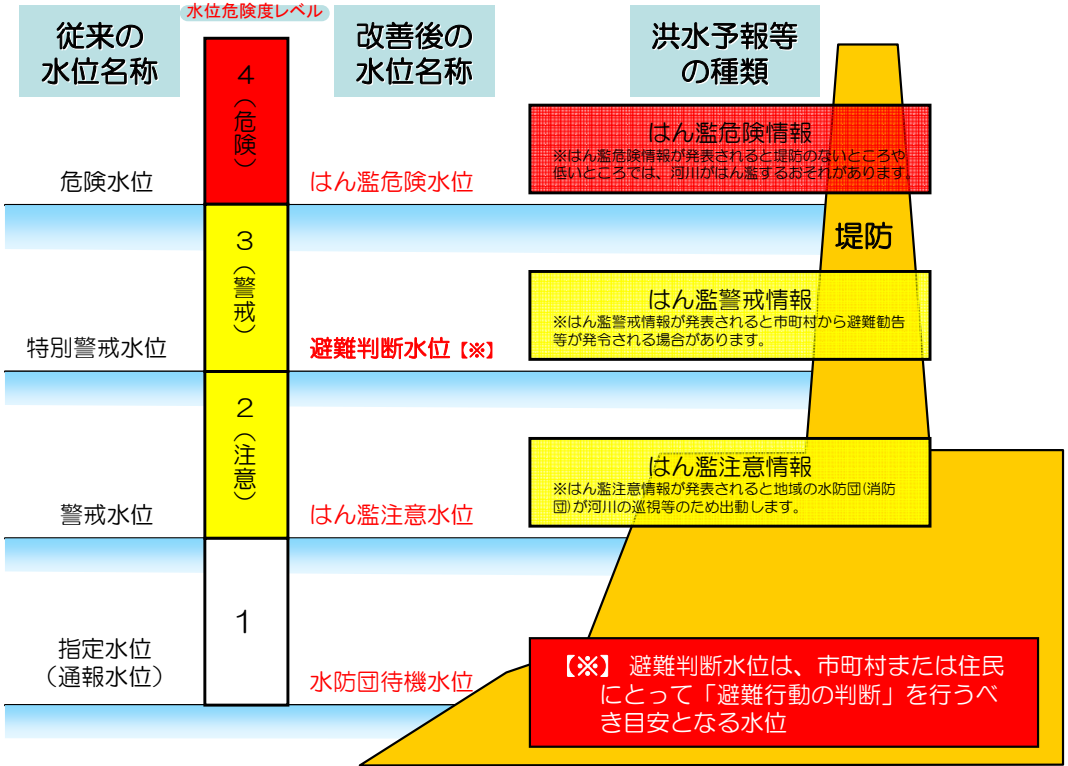
洪水等に関する防災情報体系のあり方について（提言）※

- 水位危険度レベルの導入
- 洪水情報の統一化
- 大河川での避難判断水位の設定
- 用語の見直し

※　近年多発する集中豪雨や平成１６年の記録的な台風の上陸などの水害による課題を踏まえ、情報の受け手にたった情報提供のあり方について、有識者、報道機関、自治体、住民等からなる「洪水等に関する防災用語改善検討会」からの提言
(平成１８年６月２２日)

新旧水位名称・水位危険度レベル・洪水予報等の関係

水位危険度レベルは、住民等にはん濫の危険性を周知するため、水位観測所の量水標や橋脚等を積極的に活用し、以下のとおり全国統一の色表示を行うものです。
※東北では、平成１６年度よりレベル１を「青」で実施しており、今後更新にあわせ変更していく予定です。



洪水予報（国土交通省と気象庁が共同発表）の改善

洪水注意報　→　はん濫注意情報
はん濫注意水位(警戒水位)に達したとき

洪水警報　→　はん濫警戒情報
はん濫危険水位(危険水位)を超えるおそれがあるとき、または、避難判断水位に達しさらに上昇するおそれがあるとき

洪水情報　→　はん濫危険情報
はん濫危険水位(危険水位)に達したとき
→　はん濫発生情報
はん濫が発生したとき

※　気象庁が単独発表する洪水予報の変更はありません。

洪水予報文の改善

○○川　はん濫○○情報

○○川洪水予報　第○○号
洪水注意報（発表）
○○河川国道事務所
○○地方気象台　　共同発表
平成○○年○○月○○日○○時○○分

○○川　はん濫○○水位に到達　　はん濫のおそれあり

＜主文・現況文・予想文＞
・具体的な地区名を明記
・水位危険度レベルの明記
・洪水の状況を施設と水位の関係で表現
（例）　堤防の上面まであと○○m　など

＜参考欄＞
○○水位観測所（○○県○○市○○）
受け持ち区間：○○市○○橋から○○川合流点まで
堤防の上面　○○．○m　　はん濫危険水位　○○．○m
避難判断水位　○○．○m　　はん濫注意水位(警戒水位)　○○．○m
水防団待機水位　○○．○m　　平常水位　○○．○m

水位危険度レベル
■レベル５　はん濫の発生
■レベル４　はん濫危険水位以上
■レベル３　避難判断水位以上　はん濫危険水位未満
■レベル２　はん濫注意水位(警戒水位)以上　避難判断水位未満
■レベル１　水防団待機水位以上　はん濫注意水位(警戒水位)未満

「洪水予報」「避難判断水位到達情報」は、河川のはん濫による被害の防止・軽減のため洪水に関する注意情報をあらかじめ市町村や住民に知らせるため発表しています。